

だんじょきょうどうさんかく

男女共同参画に関する市民意識調査

アンケートご協力をお願い

日頃から、豊橋市政にご理解とご協力をいただき、お礼を申し上げます。

豊橋市では、誰もが個性や能力を十分に発揮でき、いきいきと活躍できる「男女共同参画社会」の実現をめざして、「豊橋市男女共同参画行動計画」を策定し、さまざまな取組を行っています。

このたび、社会情勢の変化に対応した効果的な事業を行うよう、市民の皆様のお考えや実情を調べるためのアンケート調査を実施いたします。調査の実施にあたり、市内在住で20歳以上の方、3,000人を無作為に選ばせていただきました。

調査結果は3月までに取りまとめ、市ホームページや市役所内じょうほうひろばなどで公表する予定です。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の主旨をご理解いただくとともに、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、アンケートは無記名方式で、統計的に処理しますので、回答してくださった方にご迷惑をおかけすることはありません。

令和元年8月

豊橋市長 佐原 光一

男女共同参画社会とは・・・

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」

(男女共同参画社会基本法第2条より)

■ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
2. 質問への回答は、指示にそって番号に○をつけていただくものがほとんどですが、内容によっては、数字を記入していただくこともあります。
回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容を()に記入してください。
3. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、指示にそってお答えください。
4. 記入後の調査票は無記名のまま、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

8月31日(土)までに返送してください。

※調査についてのお問い合わせは、以下の担当へお願いします。

担当：豊橋市役所市民協創部市民協働推進課

電話：0532-51-2483

FAX：0532-56-5128

男女の平等感について

《全員にお聞きします》

問1. 社会全体でみた場合は、男女の地位は平等になっていると思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 男性の方が非常に優遇されている | 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3. 平等である | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 5. 女性の方が非常に優遇されている | 6. わからない |

《全員にお聞きします》

問2. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

A~Gの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項 目		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
場 面	A 家庭	1	2	3	4	5	6
	B 職場	1	2	3	4	5	6
	C 学校	1	2	3	4	5	6
	D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
	E 政治の場	1	2	3	4	5	6
分 野	F 法律や制度	1	2	3	4	5	6
	G しきたりや習慣	1	2	3	4	5	6

男女の意思決定について

《全員にお聞きします》

問3. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由について次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 家庭・職場・地域における固定的な性別役割分担、性差別意識 |
| 2. 男性中心の組織運営 |
| 3. 女性の能力開発の機会が不十分 |
| 4. 女性の活動を支援する体制の不足 |
| 5. 女性が積極的ではない |
| 6. 家族の支援・協力がいない |
| 7. その他（具体的に： _____) |
| 8. わからない |

《全員にお聞きします》

問4. 次の各場面における男女の意見の反映のされ方について、どのように思いますか。

A～Eの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	もっと男性の意見が 反映されるべき	男女の意見が平等に 反映されるべき	もっと女性の意見が 反映されるべき	わからない
A 家庭	1	2	3	4
B 職場	1	2	3	4
C 地域活動の場	1	2	3	4
D 市政の場	1	2	3	4
E 国政の場	1	2	3	4

参考：豊橋市における女性の参画状況

項目	数 値	年 度
市の審議会等に占める女性委員の割合	30.6%	H30 年度
市職員の管理職に占める割合	14.0%	H30 年度
学校における女性教員の管理部門（校長・教頭）への登用率	29.7%	H30 年度
自治会長に占める女性の割合	3.7%	H30 年度
地域活動に参加している人の割合	49.4%	H29 年度調査

家庭・仕事・地域活動のバランスについて

《全員にお聞きします》

問5. 現在、地域のどのような活動に参加していますか。

次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 住民の間で親睦を深め、課題を解決する活動（自治会など）
2. 子どもの支援にかかわる活動（子ども会など）
3. 高齢者の支援にかかわる活動（老人クラブなど）
4. 女性の活躍にかかわる活動（女性団体など）
5. 環境美化活動
6. 防災活動
7. その他（具体的に： _____)
8. 参加していない

《全員にお聞きします》

問6. 次のA～Gの項目について、1日平均でどのくらいの時間をあてていますか。
平日と休日、それぞれについて数字を記入してください。
(まったくしない場合は「0」を、30分する場合は「0.5」のように記入してください。)

項 目	平 日	休 日
A 仕事（収入の得られる労働）	時間	時間
B 家事（掃除・洗濯・炊事など）	時間	時間
C ボランティア・NPO活動	時間	時間
D 地域活動（問5であげられている活動など）	時間	時間
E 子育て（乳幼児から学生まで）	時間	時間
F 介護・看護	時間	時間
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	時間	時間

《全員にお聞きします》

問7. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先したい
2. 「仕事」を優先したい
3. 「地域・個人の活動」を優先したい
4. 「家庭」と「仕事」を優先したい
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先したい
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先したい
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先したい
8. わからない

※個人の活動とは文化活動、学習、趣味、付き合い等のことです。

《全員にお聞きします》

問8. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、現在の状況に最も近いものはどれですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 「家庭」を優先している
2. 「仕事」を優先している
3. 「地域・個人の活動」を優先している
4. 「家庭」と「仕事」を優先している
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」を優先している
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」を優先している
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」すべてを優先している
8. わからない

男女の働き方について

《全員にお聞きします》

問9. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 賛成する | 2. どちらかといえば賛成する |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば反対する |
| 5. 反対する | |

《問9で「1.賛成する」、「2.どちらかといえば賛成する」と回答した方にお聞きします》

問9-1. そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから |
| 2. 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから |
| 3. 子どもの頃からそうした教育をされているから |
| 4. 女性は仕事を持ってても不利な条件に置かれるから |
| 5. 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから |
| 6. 社会全体にそうした風潮があるから |
| 7. その他（具体的に： _____） |

《問9で「4.どちらかといえば反対する」、「5.反対する」と回答した方にお聞きします》

問9-2. そう思われるのはなぜですか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 男女平等に反すると思うから |
| 2. 自分の両親も外で働いていたから |
| 3. 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから |
| 4. 妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから |
| 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから |
| 6. 固定的な夫と妻の役割分担意識を押しつけるべきではないから |
| 7. その他（具体的に： _____） |

《全員にお聞きします》

問 10. 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 積極的にとったほうがよい | 2. どちらかという、とったほうがよい |
| 3. どちらかという、とる必要はない | 4. とる必要はない |
| 5. わからない | |

《問 10で「1.積極的にとったほうがよい」、「2.どちらかという、とったほうがよい」と回答した方にお聞きします。》

問 10-1. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 子どもに良い影響を与えるから |
| 2. 女性が働きやすい環境につながるから |
| 3. 男性自身も充実感が得られるから |
| 4. 男女共同参画意識が図れるから |
| 5. 男性の働き方を考えるきっかけとなるから |
| 6. その他（具体的に： _____) |
| 7. わからない |

《問 10で「3 どちらかという、とる必要はない」、「4 とる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問 10-2. そう思われる理由を次の中からすべて選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 職場の理解が得られないから |
| 2. 昇進や昇給に影響する恐れがあるから |
| 3. 取得後の職場復帰への不安があるから |
| 4. 仕事の量や責任が大きいから |
| 5. 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから |
| 6. 女性のほうが育児・介護に向いているから |
| 7. 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから |
| 8. その他（具体的に： _____) |
| 9. わからない |

《全員にお聞きします》

問 11. 女性が仕事をする事について、どのように思いますか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 子どもができれば産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
2. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらフルタイムの仕事に就くのがよい
3. 子育てを機に退職し、子どもが育ったらパートタイムの仕事に就くのがよい
4. 子どもができるまでは仕事をするのがよい
5. 結婚するまでは仕事をするのがよい
6. 女性は仕事をしない方がよい
7. その他（具体的に： _____)
8. わからない

《全員にお聞きします》

問 12. 女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで必要と思うことについて、

次の中から2つ選んで○をつけてください。

1. 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護サービスの充実
3. 家事・育児などの支援サービス
4. 男性の家事などへの参加
5. 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境
6. 女性が働き続けることへの理解や意識改革
7. 長時間労働に対する職場環境の改善
8. 育児や介護を両立できる職場支援
9. その他（具体的に： _____)
10. わからない

《女性にお聞きします》

問 13. 退職した女性が、再就職を考えたとき何を基準にするとお考えですか。

次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい
2. 仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい
3. これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい
4. 働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい
5. その他（具体的に： _____)
6. わからない

《全員にお聞きします》

問 14. 結婚や出産、育児を理由に仕事をやめる女性があります。その理由について、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家事や育児との両立がむずかしいから
2. 家族の協力や理解が得られないから
3. 育児休業や介護休業などの制度が不十分だから
4. 職場が結婚・出産した女性をきらい傾向があるから
5. 職場が責任ある仕事を女性に任せないから
6. 男性に比べて賃金が安く、職種も限られているから
7. 保育園や保育施設の数や内容が十分でないから
8. 高齢者などの介護の両立が難しいから
9. 子どもが小さいうちは子育てに専念したいと考えているから
10. その他（具体的に： _____)
11. わからない

生涯を通じた生活について

《全員にお聞きします》

問 15. 生涯を通じて安心して暮らすために必要と思うものを次の中から 1つだけ選んで○をつけてください。

1. 継続して働くことができる環境が整っていること
2. 自分や配偶者が健康でいること
3. 介護や医療、子育てなどの公的な支援制度が整っていること
4. 地域で安心して暮らせる環境が整っていること
5. あらゆる悩みに対応できる相談窓口が整っていること
6. その他（具体的に： _____)
7. わからない

子どもへの男女共同参画教育について

《全員にお聞きします》

問 16. 子育ての方針について、どのように考えますか。

次の中からあてはまるものを 1つだけ選んで○をつけてください。

1. 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい
2. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
3. その他（具体的に： _____)
4. わからない

《全員にお聞きします》

問 17. 男女平等の人間関係をつくるために学校教育の場で必要と思うものを次の中からすべて選んで○をつけてください。

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する
3. 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する
4. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
5. 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす
6. その他（具体的に： _____)
7. わからない

配偶者等からの暴力について

《全員にお聞きします》

問 18. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為を受けた経験がありますか。あてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた
2. 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた
3. いやがっているのに性的な行為を強要された
4. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた
5. 何を言っても無視され続けた
6. 交友関係や電話を細かく監視された
7. 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われた
8. 大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした
9. 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた
10. 今までなかった

《問 18で、1 から9を選んだ方にのみお聞きします》

問 18-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。
次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家族に相談した
2. 友人・知人に相談した
3. 行政機関に相談した（愛知県女性相談センター、豊橋市女性相談室、市役所、ほいっぷ など）
4. 警察に連絡・相談した
5. 弁護士に相談した
6. 医師に相談した
7. 民間のカウンセリングルームに相談した
8. その他（具体的に： _____)
9. だれにも相談しなかった

《問 18-1で「9. だれにも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問 18-2. だれにも相談しなかった理由として、次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. どこ（だれ）に相談してよいのか分からなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談しても解決できないと思ったから
4. 相談した相手の言動により、かえって不快な思いをすと思ったから
5. 自分さえ我慢すればよいと思ったから
6. 世間体が悪いから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 相談するほどのことでもないと思ったから
11. その他（具体的に： _____)

《全員にお聞きします》

問19. 男女間における暴力を防止するために必要と思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える
2. 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を規制する
10. その他（具体的に： _____)
11. わからない

《全員にお聞きします》

問20. 豊橋市にDV相談窓口（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか。

1. はい
2. いいえ

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

配偶者など親密な関係にある相手から受ける暴力のことで、身体的な暴力だけでなく、暴言を吐く、生活費を渡さないなどの精神的・経済的な暴力もDVに含まれます。

豊橋市DV相談窓口とは・・・

豊橋市は、DVの被害者にとって身近で安心して相談できる窓口として、女性相談員による相談窓口を平成26年6月に開設しました。

電話相談	0532-33-9980 面接相談の予約は電話相談の	月～土曜日 9:00～15:00	祝日・第3月曜日・年 末年始を除く
面接相談（予約制）	実施時間と同時間帯に受付	火曜日、木曜日 9:30～15:30	祝日・年末年始を除く

豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

《全員にお聞きします》

問 21. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を利用したことがありますか。

1. はい

2. いいえ

問 21-1 へ

問 22 へ

豊橋市男女共同参画センター「パルモ」とは・・・

ライフポートとよはし内にある男女共同参画推進のための拠点施設です。さまざまなテーマの講座や女性のための相談事業などを行っています。また、定員100名の研修室をはじめ図書室、調理実習室、美術工芸室、フィットネスルームなどを備え、女性だけでなく男性や企業の方にもご利用いただける施設となっています。

《問 21 で「1. はい」と答えた方のみお聞きします》

問 21-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。次の中からあてはまると思うものをすべて選んで○をつけてください。

1. 女性のための講座・催し物
2. 男性のための講座・催し物
3. 家族と一緒に参加できる講座・催し物
4. 事業の企画・運営などを市民とともに挙る市民参画型の講座
5. 特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座
6. 特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座
7. 情報収集・発信設備、図書の充実
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない

《全員にお聞きします》

問 22. 男女共同参画センターではさまざまな講座を開催しています。男女共同参画に関係のある項目のうち、参加してみたいと思う講座をすべて選んで○をつけてください。

1. 子育て・孫育て
2. 料理
3. 介護
4. 生き方・人生設計
5. 仕事や就職に役立つ技術
6. 婚活・結婚生活
7. コミュニケーション
8. 美容・健康づくり
9. DV・人権問題
10. その他（具体的に： _____)
11. 参加してみたいテーマはない（興味がない）

《全員にお聞きします》

問 22-1 男女共同参画に関する講座に参加する場合、参加しやすい曜日と時間帯について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

① 曜日	1. 平日 (曜日)	2. 土曜日	3. 日曜日
② 時間帯	1. 午前中 (9:00~12:00)	2. 午後 (13:00~17:00)	3. 夜間 (18:00~21:00)

男女共同参画社会について

《全員にお聞きします》

問 23. 次の用語について知っていましたか。

A~Gのそれぞれの項目について、あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

項目	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった
A 男女共同参画社会基本法	1	2	3
B 女性活躍推進法	1	2	3
C 豊橋市男女共同参画推進条例	1	2	3
D ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
E 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)	1	2	3
F デートDV	1	2	3
G LGBT 等性的少数者	1	2	3

ワーク・ライフ・バランスとは・・・

やりがいや充実感を感じながら働くとともに、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現でき、子育て、介護、自分自身の時間なども充実できることです。実現のためには、働き方などを見直していく必要があります。

デートDVとは・・・

特に交際中の相手から受ける暴力のことで、高校生、大学生など若年層の間にも被害が及んでいます。メールを頻繁に送るなど恋人を監視、束縛する行為もデートDVです。

LGBT等性的少数者とは・・・

性の在り方が典型的な男女とは異なる人々の総称。LGBTとは、「L」を女性同性愛者(レズビアン)、「G」を男性同性愛者(ゲイ)、「B」を両性愛者(バイセクシャル)、「T」を自らの性同一性(心と身体)に違和感を感じる者(トランスジェンダー)としてそれぞれの頭文字で示した言葉であり、それ以外にも性的少数者は存在します。

《全員にお聞きします（1人世帯も含みます）》

問24. あなたの家庭では、家族全員が男女共同参画の意識を持っていますか。

1. はい

2. いいえ

《全員にお聞きします》

問25. 男女共同参画社会の実現のために、行政（国・県・市）はどのようなことに力を入れればよいと思いますか。次の中から3つ選んで○をつけてください。

1. 男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 各種団体の女性リーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う
5. 女性の採用拡大や職域拡大を進める
6. 女性の再就職支援につながる取組（資格取得支援など）を進める
7. 労働時間の短縮や在宅勤務など、働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う
8. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
9. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
10. 女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する
11. 男性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する
12. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する
13. 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する
14. 広報紙やパンフレットなどによる男女の平等と相互の理解や協力について PR する
15. 家庭における暴力を根絶するための取組を進める
16. その他（具体的に： _____)
17. 特にない

《自由意見》

■以下のことについて、ご意見をお書きください

男性が仕事と家事、育児、介護を両立することについて	
女性が仕事と、出産、子育て、介護などを両立することについて	
LGBT 等性的少数者への認識について	
その他男女共同参画に関して	

あなた自身のことについて

※アンケートを統計的に分析するために、令和元年8月1日現在の状況を必ずご回答ください。

A あなたの性別について教えてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他 ()
-------	-------	------------

B あなたの年代（年齢）を教えてください。

1. 20代	2. 30代	3. 40代
4. 50代	5. 60代	6. 70代以上

C あなたの職業は、次の中のどれにあたりますか。 1つだけ選んで○をつけてください。

自営業・自由業	会社・組織へ勤務	無職・学生
1. 農林漁業	5. 正社員・正職員	10. 専業主婦・専業主夫
2. 商・工・サービスの自営業主	6. 派遣・契約社員	11. 学生
3. 自由業（作家、芸術家など）	7. パートタイム・アルバイト	12. その他（年金生活者、失業中の方など）
4. 上記「1～3」の家族従業者	8. 内職・在宅就業	
	9. その他 ()	

D あなたに配偶者はいますか。

1. いる（事実婚や別居中を含む）	2. いない（死別や離婚を含む）
-------------------	------------------

《Dの質問で「1. いる（事実婚や別居中を含む）」と答えた方にのみお聞きします》

D-1 あなたと配偶者の方は、共働きをしていますか。

1. 共働きをしている	2. 共働きをしていない
-------------	--------------

E あなたの世帯の家族構成はどれに該当しますか。 1つだけ選んで○をつけてください。

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ（一世代家族）
3. 親と子（二世代家族）	4. 親と子と孫（三世代家族）
5. その他（具体的に：)	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

この用紙は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、8月31日（土）までに返送してください。